

団体名

横浜国立大学教育学部附属横浜小学校 4年3組(花火3)

「集まれ！生き物の森 ～知っていますか？絶滅危惧種、実は…～野毛山動物園 編」



活動について

私たち4年3組では、総合単元学習で「絶滅危惧種を守るために私たちができること」というテーマで学習を進めてきました。きっかけは、5月に野毛山動物園に行ったらトラやホッキョクグマのコーナーに動物がいなかったことや、大好きなレッサーパンダが実は絶滅の危機に瀕していた事実を知ったことからです。しろくまの家にある「【ヒト】(霊長目 ヒト科)…非力だがかなり知能が高いと考えられている。ほかの種を絶滅から救うことができる唯一の種…になるかもしれない」という表示を見た子どもたちは、「自分たちには何かできないか」と考え、野毛山動物園の職員の方へのインタビューや授業を通して、「絶滅危惧種を守るために小学生の私たちにできること」を追究してきました。



絶滅危惧種の繁殖や調査を行っている横浜市繁殖センターやズーラシアへのフィールドワークを行ったり、希少動植物の研究を行っている横浜国立大学教育学部に行ったりして「私たちにできること」を考えました。そこで行き着いたのが「虫ホテル(インセクトホテル)」です。「私たちができること」は、まずは学校の周りに生息する身近な昆虫や植物を守ることが生き物のつながりを守ることにつながり、希少動植物の保護につながるのではないかと、という結論に至りました。

このブースでは、今まで学んできた希少動植物に様々な立場で携わる人の思いや、絶滅危惧種の実態、横浜小学校で実際に設置している「虫ホテル」についてなどを壁新聞・スライド・クイズ・ジオラマなどでまとめた成果物を展示しています。

インセクトホテル(虫ホテル)とは

木の柱に葉っぱや枝、穴をあけた丸太などをいれ、オスとメスの出会い・越冬・産卵の場など虫たちにとってのすみかとなる場所のことです。昆虫がいる場所には鳥や小動物が集まりやすくなり、それらが周囲の動物と共生することで多種多様な生命が暮らす森林が作られるという、生き物のつながり(生物多様性)の輪を生み出す仕掛けであり、ヨーロッパではさかんに行われています。



展示ブースについて

- ・壁新聞「絶滅危惧種の現状」「各ブースの紹介」
- ・クイズ「絶滅危惧種に関するクイズ」
- ・ジオラマ「生き物のつながり(生物多様性)が守られた理想の地球環境」
- ・スライド「野毛山動物園で学んだこと」「横浜市繁殖センター・ズーラシアで学んだこと」「横浜国立大学で学んだこと」



PR用 Youtube 動画はこちら！



私たちの総合の取り組みをぜひご覧ください！野毛山動物園でお待ちしています！

